



保育所だより

令和6年8月30日
桑折町醸芳保育所

7月中旬に手足口病が保育所内で蔓延しました。30名以上の子どもたちが罹患しましたが、ここへきて罹患者がなくなりほっとしているところです。しかし、新型コロナウイルス感染症が再拡大しているようです。新たな株 KP.3 の出現で全国的に罹患者が増加し、感染拡大の第11波になっていることはマスコミ等の報道で知っていましたが、私たちの身近で感染してしまう方が着実に増えています。保育所内で子どもから子どもへ感染したケースはまだありませんが、家族内や地域内での感染が起こっているようです。また、全国的にマイコプラズマ肺炎の罹患者も増えてきているという報道もあります。マイコプラズマ肺炎は潜伏期間が2～3週間のため、感染を防ぐのは厄介な病気とも言われています。病気の予防については、0～2歳児の子どもたちに出来ることはほとんどなく、私たち大人の力によるところが大きくなります。そういった意味で、保護者の皆様には今後も子どもたちの健康管理へのご協力、よろしくお願いいたします。

さて、9月は暑さが一段落して、戸外で活動しやすい季節になります。(・・・なって欲しいと願います。)体をいっぱい動かす戸外遊びや散歩を楽しみながら、体力そして病気の免疫力をつけてまいります。また、季節の草花や虫などに気付いたり、身近に感じたりして、五感を通して秋の遊びへと移行していきたいと思えます。

<今月の保育の目標>

0歳児

- 残暑や気温の変化がある中で、快適に過ごす。
- 安全な環境の中で発達に合った体の動きや遊びを楽しむ。

1歳児

- ゆったりとした生活の中で、健康で快適に過ごす。
- 自然の変化を感じながら、散歩や戸外遊びを楽しむ。
- 保育者や友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。

2歳児

- 難しいところは手伝ってもらいながら、身の回りのことをやってみようとし、できたことの満足感を味わう。
- 身近な自然を感じたり、季節の移り変わりに触れたりしながら遊びを楽しむ。
- 友達とかかわる中で、相手の思いを感じ取りながら過ごす。



<9月の行事予定>

13日(金)交通教室
24日(火)避難訓練
26日(木)誕生会



<10月の主な予定>

16日 尿検査
22日 避難訓練
23日 内科検診 14:00～
24日 誕生会
31日 ハロウィンパーティー

< 保育所からのお知らせ・お願い >

【保育所ホームページについて】

日々の保育所の様子やお知らせ等を週2回更新していますので、ご覧ください。

[桑折町醸芳保育所] 検索 > 保育所の様子 > 令和6年度 > ○月 > ○月○○日

【持ち物について】

*ちゅうりっぷ・すみれ・ゆり・ひまわり・さくら組のお子さんは、夏場利用しなかった上履きを9月から使用しますので、持ってきてください。

*毎日持ち帰るコップや週末持ち帰るバスタオル・ズック等は、必ず洗って持ってきてください。

*着替え等持ち物には、記名をお願いします。以前に書いた名前やシールが薄くなっていたり、取れていたりする場合は、再度、見やすいところに、できるだけ大きく書いてください。

【駐車場の利用】

送迎の際には、西側の大駐車場及び西側第二駐車場の利用をお勧めします。（東側駐車場は桑折公民館前の道路がスクールゾーンとなっており、7:30～8:30までは使用できません。）また、いずれの駐車場も住宅側・壁側は前進駐車とし、車のエンジンは必ず止めてください。駐車場内では、乗り降りを大人が行い、お子さんの手を決して離さずに歩くようにしましょう。

< 各クラスより >

たまご組



↑ハイハイ練習中

今年の夏はいつになく気温が高すぎたことと、体調不良で水遊びが出来ないお子さんが多く見られたことで、涼しい遊戯室での活動が多くなってしまいました。しかし、ハイハイや歩行練習中のお子さんに遊戯室での遊びは進みやすいし、手足が汚れないし、転倒しても大きなけがもしないし…。

おかげでたくさん練習ができたと思います。

夏ならではの遊びも勿論行いました。プールができないお子さんでも遊べるように、手足のみ水に触れさせたり、冷蔵庫で冷やした『冷え冷えおもちゃ』を使って遊んだりしました。水の感触が皆大好きで、夢中になって遊ぶ姿がみられました。



ちゅうりっぷ組

クラスの進級があり、たまご組さんから進級してきたお友達も少しずつちゅうりっぷ組に慣れて、かわいい笑顔で過ごせる日も多くなってきました。毎日暑い日が続き、たくさん水遊びを楽しみました。朝のうちにタライに水を汲んでおくと、水遊びをする頃には水温がちょうど良い暖かさの



水なります。水遊びの楽しさが分かり、慣れてくると、じょうろやホースで水をかけられても、平気で遊んでいます。終わってから、麦茶を飲んで水分補給もしています。9月になり、涼しくなってきたら、体調の変化に十分気を付けながら、戸外遊びを増やして、元気に過ごしていきたいと思っています。



↑お水、気持ちいい～

すみれ組

8月は進級があり、朝は泣いてしまうお友達もいましたが、少しずつ新しいクラスに慣れてきたようで楽しく過ごしています。暑い日は水遊びや色水遊びをして、水の感触を感じたり、色が混ざる様子を見たりして、とても楽しんでいました。



↑ グルグルおえかき



室内ではお絵かきやままごと遊びに夢中なすみれ組です♪上手にクレヨンを持ちグルグル集中して描いたり、ままごとではお友達と並んで料理の真似をしたりする姿がとてもかわいいです。9月は8月より涼しくなると思いますので、戸外活動もしっかり行って楽しんでまいります。

ゆり組

暑い日が続き、プールでの水遊びを楽しむことができました。大きなビニールプールの中に、タライを入れて水を溜めて置くと、タライの中にそお〜と手を入れたり足を入れたりして



↑ 水かかってもへっちゃら〜

ました。「キャー」「ちゅめたい」などと言って水の感触を感じ、楽しんでいました。気が付くと、タライの中に座り込んで遊んでいたお友達の姿も見られました。水に慣れると、喜んでプールの中に入りワニさん歩きをしていたお友達もいました。



生活面では、プールに入る前と後の着替えを保育者に手伝ってもらいながら、頑張って取り組む姿が見られました。

ひまわり組

暑い日には、水遊びをたくさん楽しみました。水だけでなく、泡・色水・絵の具・水風船など、色々な素材に触れる機会を作っていました。夏ならではの遊びが十分楽しめたかと思います。

保育所の夏祭りをとても楽しみにしていた、子ども達。クラスで夏祭りごっこをして、お神輿をひいたり、お店屋さんごっこをしたり、太鼓をたたいたり、毎日お祭りのイメージをふくらませて遊ぶ姿が見られました。わっしょい！というかけ声もとても上手にできるようになりました。



↑ 太鼓ドンドン！！楽しい〜

生活のことにおいては、簡単な身支度を自分なりに行ったり、トイレに興味を持つ子が増えてきたので、トイレに座ってみたりしています。引き続き、身の回りのことができるよう、援助していきたいと思っています。

さくら組

8月はプール遊びをたくさん楽しむことができました！水遊び大好きな子ども達！！始めは保育者と水をかけ合ったり、「先生見て～」と色水遊びなどをしたりと、保育者と一緒に遊ぶことが多かったのですが、次第に友達と水のかけ合いをしたり、「私にもちょうだい」と友達に色水を注いでもらったり、友達とかかわって一緒に遊ぶことが増えていきました。水遊びを通して友達とのかかわりも深まったようです。水遊びで着替えを上手にできるようになったので、お昼寝用のバスタオルを畳んだり、靴下を履いたりなど自分でできる身の回りのことを増やしていきたいと思います。「できた！」という達成感から自信をもって生活し、大きく成長していけるようにかかわっていききたいです。



↑この色を混ぜてみようかな？



家庭生活ポイント 「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・・より

グローバル社会で生き抜くために伸ばしたい、“5つの力”

益々グローバル化が進む世の中。「わが子にはグローバル社会でも自分らしく生きていってほしい！生き抜く力をもってほしい！」そのためには、「まず、英語力を身に付けさせなくては！」「英語を早くからやらせておけば、わが子はグローバル社会でも活躍できる！」と思いませんか？

もちろん英語力は大切です。しかし、これからのグローバル社会で生き抜くためには、英語力よりもまず先に伸ばしたい5つの力があります。それが、次の5つです。

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1 コミュニケーション能力 | 2 マナー、礼儀 |
| 3 多様性を楽しめる心 | 4 自己表現力 |
| 5 自己肯定感 | |

この5つの力を伸ばす前に英語力を伸ばすことばかりに着目してしまっただけでは、グローバル社会で生き抜くことは難しくなってしまうのです。なぜならこの5つは総じて「**人間力(非認知能力ともいえる)**」とも呼ばれるものだからです。どんなに英語が堪能でも、人間力のない人は相手から敬遠されてしまうもの。これでは、グローバル社会で生き抜くことは難しいです。

人間の脳は6歳までに90%できあがると言われています。だからこそ、この時期に人間力の土台をしっかりと子どもの中に築いてあげることが、グローバル社会で生き抜くことに繋がるのです。この5つの力をご家庭で伸ばす方法を見ていきましょう。

1 コミュニケーション能力

コミュニケーション能力とは例えるなら、他者との意思疎通のキャッチボールができる力のことです。このキャッチボールが上手くできない人は例え英語力が高くとも、グローバル社会で活躍することは難しくなります。自分の話を聞いてくれずに一方的に話す人や何を話しても無反応な人とはコミュニケーションを続けたいと思わないのは、世界のどんな人でも同じです。では、子どものコミュニケーション能力を伸ばすためにはどうしたらよいでしょうか。

次号につづく➤